

多摩のB級グルメ展で「TOKYOX」を使ったうどんが優勝



近年、人気を集めているB級グルメ大会の大多摩地域版「第1回多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ」が26日、27日の2日間、東京都あきる野市の東京サマーランドファミリパーク駐車場で開催され、ブランド豚「TOKYOX」を使った青海市の「青梅生まれトウキョウX肉うどん」が見事優勝した。同イベントには大多摩地域の10市町村からB級グルメ30品が展覧され、二日間で3万7千人が来場。どのブースにも長蛇の列が並んだ。審査は品物を購入する毎にメダルがもらえ、その投票数で競われた。各ブースには千枚のメダルが割り当てられており、購入した品物でないものにも投票することができる。優勝した肉うどんは地元の特産品を打ち、薄切りの軟らかな「TOKYOX」豚がふんだんに盛り込まれたことが決め手となった。そのほか「TOKYOX」関連ではX豚と大量に煮込んだ醤油ダレで炒めた青梅市の「トウキョウX濃厚ブラックソース焼きそば」が6位、2日目に千枚のメダルを配りきり競技終了2時間前に完売となった福生市の「福生ドッグTOKYOXハーフカット」が9位と好評だった。なお2位が小菅村の「よちよちヤマメの唐揚げ」、3位があきる野市の「だんべえ汁」だった。

「企業倒産」井野食品 (株)協同食品 (群馬県) 特別清算開始決定

(株)井野食品(旧商号は(株)金華亭食品、資本金2000万円、高崎市、代表清算人中田正男氏)と、関連会社の(株)協同食品(資本金2000万円、同所、同代表清算人)は5月8日に前橋地裁高崎支部より特別清算開始決定を受けた。(株)井野食品は1955年に(株)金華亭食品として創業、70年5月に法人改組。肉豚の解体処理時に発生する内臓物等の加工を手がけていた。工場新築や運転資金を目的として多額の借入金を導入していた主力取引の新潟中央銀行が経営破綻。その後同行からの借入金(株)整理回収機構へ譲渡されたため新たな資金需要への対応に難航するなかで、協同食品などで手がけていた事業から撤退し、同社は製造に特化するかたちとなっていた。その後、2011年7月1日、会社分割により事業継続会社の新・金華亭食品に食肉加工事業を譲渡。そして同社は同日、商号を金華亭食品から井野食品に変更、11月15日には株主総会の決議により解散して清算処理の準備に入っていた。協同食品は1981年2月に設立。88年3月に金華亭食品のグループに入り同社代表の中田正男氏が代表を兼務、同社の販売窓口として機能してきたが99年後半からは実質休眠状態となり、2011年11月15日、株主総会の決議により解散し清算処理の準備に入っていた。負債は(株)井野食品が約1億5000万円、(株)協同食品が約1億円、2社合計で約2億5000万円。なお、新・(株)金華亭食品は通常通り事業を継続。(帝国データバンク)